

個人がもっと気軽に 自信をもって 意見を言える社会を つくりたいんです。

Change.org日本代表／ハリス鈴木絵美

Emmy Suzuki Harris

ハリス鈴木絵美

はりす・すずき・えみ ● 1983年東京都生まれ。アメリカ人の父と日本人の母の間に生まれ、高校まで日本で過ごす。アメリカンスクールを卒業後は、ミイェール大学に進学。卒業後はマッキンゼー&カンパニー、オバマの選挙キャンペーン、ソーシャルインキュベーター企業Purposeなどを経て、2012年7月、Change.orgの日本版立ち上げ時に代表に就任。それにともない帰国。現在は日本オフィス代表として、チェンジを使って気軽に社会に対して意見を発信する文化を根付かせるため奮闘中。テレビ、新聞、雑誌などメディア出演多数。

チェンジ・ドット・オーグ(以下チェンジ)とは、ひとこと
で言えばインターネットの署名サイトです。これはおかし
い、変えたいと思うことがあるなら、サイト上にキャン
ペーンを立ち上げ、賛同者を募り、集まった署名を決定
権をもつ人に届けることができます。私はその日本版
の代表を務めています。

今でこそこんな仕事をしています。が、高校生のころ
は政治や社会問題に対してほとんど関心をもっていま
せんでした。とにかく一流の大学を出て、一流の企業へ入
ることが人生の目的だと思いついていました。それは
両親の意向であり、私自身もあまり疑問を感じるこ
となく、20代前半までは実際その通りに進みました。し
かし、途中で体を壊して会社を辞め、エリートコースか
ら外れてしまいました。

その後、友達に誘われてアメリカ大統領選に立候補
したオバマのキャンペーンにボランティアとして参加した
のですが、このことが私の人生を変えました。ボラン
ティアを通じて、これまで接したことのない貧困層の
人々と接し、この世界の不公平さに愕然としました。
同時に自分のことしか考えていなかったこれまでの生
き様を恥じ、罪悪感を覚えました。そして自分ももつ
てる力やスキルを大勢の人のために使いたいと感じる
ようになったのです。その後、複数の職を経験しまし
た。チェンジの日本版がオープンするのを知り、これ
は私にしかできない仕事だと思い、2012年、チェンジ
の日本代表に就任したというわけです。

若い人たちは大人の言うことを鵜呑みにせずに、
自分にとって幸せとは何か、一番大切にしたいのは何か
ということを自分の頭でしっかり考える能力を磨いて
ほしい。自分の声には力があるということも知ってほし
いですね。そして「おかしい」と思うことに対してはみんな
が気軽に自分の意見を言えるような社会にしたい。そ
れが私の目標なんです。